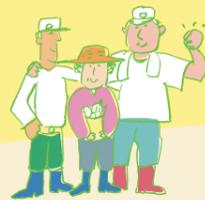


平成 28 年度

農工商等連携推進事業まとめ



実施事項

1. 連携フォーラムの開催
2. モデル事業の実施
3. 広報誌の発行

概要

初年度の平成 28 年度は市内農産物の付加価値向上や農作業の効率化、地域の活性化を図るために、連携フォーラムを開催することで農工商等連携のPRを行った。また、モデル事業を公募し、広報誌を発行することで市内農家や各地域に普及するための活動を取り組んだ。

1. 連携フォーラムの開催

第1回連携フォーラム

平成 28 年 6 月 27 日 (月)
@てくのかわさき

第1部 フォーラム

■基調講演 (川崎市経済労働局長)
「川崎市の都市農業について」

■事例紹介

- ①農業と福祉の連携事例 (社会福祉法人はぐるまの会)
- ②農業者と連携した地産地消の取組事例 (一般社団法人カワサキノサキ)
- ③産学連携による農業分野への ICT 活用事例 (㈱ルートレック・ネットワークス)



▲基調講演の様子 ▲フォーラムの様子



▲事例紹介の様子 ▲フォーラムの様子

第2部 意見交換会



▲意見交換の様子 ▲試食品 (トマト大福)

農工商等連携の推進を PR し、連携の機運を高めることを目的としている。農業をテーマに多様な主体が出会い、交流する場として開催した。

第2回連携フォーラム

平成 28 年 10 月 28 日 (金)
@川崎市総合自治会館

第1部 フォーラム

■基調講演 (農林水産省食糧産業局 食文化・市場開拓課和食室長)
「実りの秋に考える川崎農業の可能性」

■特別講演 (和光大学表現学部芸術学科長)
「農業とデザイン」

■明治大学農学部学生による発表

■農工商等連携事業モデル事例紹介



▲基調講演の様子 ▲特別講演の様子

第2部 意見交換会



▲意見交換の様子 ▲試食品 (パウンドケーキ)



▲試食品 (ジャガイモ、ケチャップ) ▲試食品 (クラフトビール)

第3回連携フォーラム

平成 29 年 3 月 24 日 (金)
@セレスモス宮前店

第1部 フォーラム

■基調講演 (㈱奥野田葡萄酒蔵、富士通㈱ネットワークビジネス戦略室)
「ワインと ICT のおいしい関係」

■モデル事業の実施報告

■市内農業者の抱える課題について



▲基調講演の様子 ▲フォーラムの様子



▲フォーラムの様子 ▲モデル事業の報告

第2部 意見交換会



▲意見交換の様子 ▲試食品 (ハーブソーゼージ)



▲試食品 (ケーキサレ) ▲試食品 (ワインとジュース)

2. モデル事業の実施

市の公募及び審査会によりモデル事業が採択され、農業者が多様な主体と連携することにより、都市農業の可能性を広げることを目的としている。

ICT を活用した養液土耕栽培による省力化と生産向上への取組

株式会社ルートレック・ネットワークス

■実施事項

ゼロアグリ (ICT 養液土耕栽培システム) を設置し、土壌環境を把握しながら灌水施肥管理を行うことで、農作業の省力化と生産性向上を目指す実証を行った。設置したトマト農家では、作業時間削減により他の作業に手をかけることができた、果実変形の減少による品質の安定が確認された、等の成果を得ることができた。



▲生育途中の形のよいトマト



▲ゼロアグリを設置

遊休農地の活用と障がい者の雇用創出

有限責任事業組合
次世代農業・食品循環研究所

■実施事項

農福連携農業を進めることで、農業の課題である「遊休農地の活用」と福祉の課題である「障がい者雇用の創出」の双方の課題解決につながる事業を進めた。本事業では、作業レベルを検証するために農作業トライアルを実施して課題の抽出を行うとともに、収穫したみかんの加工販売まで実施し、学校教育との連携も進めることができた。



▲商品化しないみかんの収穫



▲加工したみかんジャム

遊休水田の活用と福祉団体との連携

一般社団法人カワサキノサキ

■実施事項

川崎市北部の農地維持のため、かつて市民の連携によって作られていた川崎の地酒「田ゆう」を復活させることで川崎の水田を守っていききたいという考えのもと、農家・市民・多業種が連携し、酒造り推進のための準備を進めた。参加者とともに田ゆう誕生の経緯や都市農業、田んぼや米についての勉強会や意見交換会、稲作体験や発酵食品や醸造体験などが行われた。



▲稲刈りの様子



▲味噌づくり体験の様子

アスパラガスの新たな栽培方法

新規ホーラーを使った「採りきり栽培」

明治大学農学部

■実施事項

アスパラガスは収穫までに手間や時間がかかる。本事業では、事業者である明治大学農学部考案の初心者でも取り組みやすい栽培手法「採りきり栽培」を市内農業者に提案し、地域活性化に繋げる取組を行った。栽培手法は講習会やセミナーを開催して市内農業者に普及活動を行い、生産者の増加を目指した。



▲セミナーの様子



▲定植講習の様子

3. 広報誌の発行

都市農業活性化に関する農工商等連携推進事業の取組を、広報誌を通じてより多くの人に周知することを目的に年 2 回発行した。

1 回目：平成 29 年 3 月号 ①

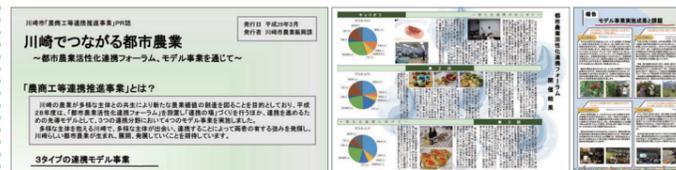


■1000 部発行

■概要

- ・農工商等連携事業について
- ・今年度のモデル事業の成果報告
- ・メディア出演報告
- 「LOVE かわさき新春特別番組」

2 回目：平成 29 年 3 月号 ②



■1000 部発行

■概要

- ・農工商等連携事業について
- ・第 1 回連携フォーラム開催報告
- ・第 2 回連携フォーラム開催報告
- ・第 3 回連携フォーラム開催報告